

# 競技注意事項

## 1. 競技規則について

- ①本大会は2025年公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則、並びに本大会申し合わせ事項よって行う。
- ②本大会はWR k対象競技会として申請しており、WR k申請種目はトラック種目（一部を除く）と跳躍種目とする。競歩、リレー、投てき種目全てと混成競技（男子八種競技・女子七種競技）は申請除外とする。
- ③同時申込をした競技者が、フィールド競技の途中で他の競技に出場するため競技場所を離脱する際は、そのラウンドにおいては試技順を変更することができる。この場合、当該ラウンドが終了するまでに戻ってきた場合は試技が許されるが、戻らない場合は「パス扱い」とする。次のラウンドでは試技順の変更は許されず、予め決められた順序で試技を開始させる。試技時間が過ぎた場合は「無効試技」とする。

## 2. 練習について

- ①練習に際しては競技役員の手配に従って安全に練習すること。
- ②練習会場の開放時間・使用場所については、栃木陸協Webサイト等でも別途提示する。
- ③練習会場は主に第2陸上競技場を使用し、別に定める注意事項に従って、練習を行うこと。
- ④第2競技場のメインスタンド下雨天走路は、ジョギングと体操のみ使用を許可する。  
第2競技場のバックスタンド外側の雨天走路は、ドリルや流し等の使用を許可する。雨天走路は一方通行で使用すること。
- ⑤第2競技場の利用は17時頃までとし、その後の整理運動等はカンセキスタジアムで行う。
- ⑥8時から競技開始10分前までは、カンセキスタジアムでの練習を許可する。トラックの使用区分は別に定める。跳躍・投てきピット、芝生フィールド内での練習は禁止する。
- ⑦カンセキスタジアムのバックスタンド下雨天走路は、8時から使用可とする。
- ⑧カンセキスタジアム1階管理通路および2階の外周での練習は不可とする。
- ⑨投てき場隣のクレイグラウンドを投てき競技出場者用の練習場所として開放する。ジョギングや流し、MB投げなどの練習は、周囲に注意して実施すること。投てき用具（砲丸・円盤・ハンマー・やり等）を用いた練習については禁止する。投てき用具を投げる練習は、競技開始直前の公式練習のみとする。
- ⑩総合運動公園内園路はジョギング程度なら可とする。ただし集団での走行、リレーのバトンパスをしながらのジョギング等は禁止とする。選手・関係者及び公園の一般利用者の安全確保のため、ジョギング以外の練習（ハードルやボール等の使用）は禁止。

## 3. 競技場および競技用靴について

- ①主競技場・補助競技場の競技競走路は全天候舗装である。
- ②競技用靴底のスパイクの数は11本以内とする。スパイクの長さは9mm以下とする。ただし走高跳・やり投は12mm以下とする。スパイクは先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するように作られていなければならない。（WA競技規則TR5）
- ③WR k申請競技会につき、WA競技用靴規程を適用し、適用除外とはしない。
- ④競技用靴ソールの最大の厚さは20mmとする。ただし競歩については最大の厚さは40mmとする。
- ⑤フィールド競技用靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
- ⑥審判長が疑義を抱いた場合、競技開始前、競技中、または競技終了後に競技用靴の検査を行う場合がある。
- ⑦シューズについては、WA（世界陸連）の認証品リストを確認の上、使用すること。

【WA（世界陸連）Webサイト；[LIST OF APPROVED ATHLETIC SHOES](#)】



## 4. アスリートビブスについて

- ①アスリートビブスは主催者が配布したもの（胸・背2枚）を使用し、そのままの大きさをユニフォームにつける。ただし、跳躍種目の競技者は胸部または背部だけでもよい。
- ②トラック競技出場者は写真判定用の腰ナンバー標識を招集所で受取り、左右の腰につける。ただし、
- ③4×100mRは4走のみ、4×400mRは2～4走のみ左右の腰につけることとする。

## 5. 招集について

- ①招集所は、3ゲート（1500mスタート地点）に設ける。
- ②招集開始時刻および招集完了時刻は競技日程記載のとおりとする。
- ③混成競技は2日間とも、2種目以降の招集はトラック競技は競技開始20分前、フィールド競技は競技開始30分前に混成競技控所で行う。
- ④招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技を棄権したものととして処理する。
- ⑤競技者は招集開始時刻に招集所で待機し、最終確認を受けること。その際にアスリートビブス、スパイクピンの本数と長さ、靴底の厚さ、商標等の点検を受ける。
- ⑥代理人による最終確認は原則として認めない。ただし、2種目に同時に兼ねて出場する競技者は招集開始時刻までにその旨を招集所競技者係に申し出る。

## 6. 欠場について

出場種目を欠場する場合は、招集開始15分前までに、欠場する旨を招集所競技者係に申し出る。

## 7. 入退場について

競技者の入退場は、競技役員の指示に従い、規律ある行動をとるよう心がける。

## 8. トラック競技について

- ①トラック競技の組・走路順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選しプログラムに示す。
- ②トラック競技の準決勝・決勝の走路順は、主催者が抽選し栃木陸協Webサイト等に掲載する。
- ③混成競技において、トラック種目の組・走路順、フィールド種目の試技順は主催者が抽選しプログラムに示す。
- ④すべてのトラック競技は写真判定（1/100秒）で行う。
- ⑤800mまでの種目及びリレー競走における同タイム者及びチームについては、1/1000秒まで読み取り着差の判定をする。それでも判定できない場合は、レーンに余裕がある限り進出させる。レーン数が不足する場合には本人または代理者により抽選を行う。1500m・3000m・5000m・3000m S Cの同タイム者は、次のラウンドに進出させる。

## 9. リレー競技について

- ①リレー競技に出場するチームは、【リレーオーダー用紙】を各ラウンドの第1組目の招集完了時刻の1時間前までに招集所競技者係 T I C に提出する。また、決勝においてもメンバー・オーダーの変更の有無にかかわらずオーダーを記入し、予選に準じて招集完了時刻の1時間前までにT I Cへ提出する。提出なき場合は棄権とみなす。
- ②オーダー用紙提出後にケガ等によりオーダー変更が必要な場合は、監督・顧問教員がT I Cに申し出ること。その後T I C係員の指示に従い、オーダー用紙変更届を提出すること。
- ③リレー競走でのユニフォームは、色やデザインが同様に同一のチームと判別可能であれば、形状が異なる衣類を着用しても良い。

（色パターンが同じであること。例：セパレートとランニングシャツ、レーシングタイツとランニングパンツなど）

## 10. 跳躍競技について

- ①走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方は下記のとおりである。（状況により変更する場合がある。）

種目	練習	バーの上げ方							
		1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	1m90	1m95	
男子 走高跳	1m60 1m85								以後3cm
女子 走高跳	1m35 1m50								以後3cm
男子 棒高跳	2m50 3m00 3m20								以後10cm (5cm)
女子 棒高跳	2m10 2m60 3m10								以後10cm (5cm)

種目	練習	バーの上げ方							
		1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	以後3cm
八種競技 走高跳	1m30 1m60	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	以後3cm
七種競技 走高跳	1m15 1m40	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m43		以後3cm

- ②第1位及び関東大会出場決定のためのバーの上げ下げは、走高跳では2cm、棒高跳では5cmとする。  
 ③男子三段跳の踏切板の位置は11m、女子三段跳の踏切板の位置は9mとする。

#### 11. 混成競技について

- ①混成競技の競技者控え場所は、メインスタンド1階の屋内練習場に設置する。競技者以外は立入禁止。  
 ②トラック種目の走路順は最終種目（男子1500m・女子800m）を除き主催者が抽選し、プログラムに示す。  
 ③フィールド競技の試技順は主催者が抽選し、プログラムに示す。  
 ④混成競技の最終種目は、それまでの得点上位から順に特別ナンバー標識を配布する。  
 （女子800mは第9位以降の競技者を1組、第1位～8位までの競技者を2組とする。）  
 ⑤途中棄権する者は、混成競技審判員に申し出る。

#### 12. イエローカード（以下、YC）について

- ①WA競技規則CR18.5の規定により、TR6、16.5、17.14、17.15.4、25.5、25.19、に違反があった競技者やリレーチームにYCを提示し警告を与える。この場合他の種目との合算は無く、種目ごとに累積し、種目ごとにリセットする。  
 ②同一種目で2回YCの提示を受けた競技者は、当該種目を失格とする。ただし、それ以後の他の種目の出場は可能である。YC提示の累積は、当該種目のみに適用する。

#### 13. 競技用器具について

- ①競技に使用する用器具は、主催者が用意したものを使用する。  
 ②競技者所有の棒高跳用ポールは、競技場所での検査に合格したものが使用できる。検査については、競技会場で練習中に競技役員が行う。  
 ③競技者所有の投てき用器具は検査に合格し、全参加者が競技会での使用を条件に持ち込みを認める。持ち込む用器具は、競技開始2時間前から1時間30分前まで器具庫2（4ゲート外側）で検査受付を行う。

#### 14. 入賞・得点について

- ①各種目入賞は第8位までとする。  
 ②各種目の得点は、1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位4点、6位3点、7位2点、8位1点とする。  
 ③男子及び女子別の合計得点によって学校順位を決定する。（同点の場合は上位種目の多い学校を上位とする。）

#### 15. 表彰について

- ①学校対校男女別第8位まで表彰する。  
 ②種目別第3位まで賞状を授与する。

#### 16. 関東大会について

本大会の各種目6位（6人・6チーム）まで、関東大会の出場権を得る。ただし、男女走高跳・男子棒高跳は6位までの入賞者6名、女子棒高跳は4位までの入賞者4名、男女5000mWは5位までの入賞者、女子三段跳・女子ハンマー投・男女混成競技は4位までの入賞者とする。

【トラック種目において、6位同タイム（1/1000秒）者は、関東大会の出場権を得る。】

#### 17. 抗議について

WA競技規則TR8による。

#### 18. 助力について

競技規則TR6に従う。なお、スタンドから競技の映像を録画した機器を競技者に手渡しすることはルール上認められているが、競技場の構造上危険があるため、映像機器等をスタンドから競技者に手渡しすることは認めない。

## 19. 商標について

ユニフォームやバッグ等の商標に関する規定については、日本陸連の指針に則った対応とする。  
(下記QRコードから閲覧できる日本陸連公式サイトを参照)

競技会における広告および展示物に関する規程〔国内〕

[05\\_101632.pdf](#)



## 20. 競技場使用について

- ①主競技場の使用時間は8:00～競技終了後30分後までとする。  
※朝の主競技場の使用時間は8:00～競技開始10分前までとする。
- ②参加校テント設置は、第2競技場外周芝生のみとする。
- ③参加校シート設置場所は、主競技場2階コンコース指定の場所とする。
- ④主競技場における横断幕の設置は、2階スタンドの最前部とする。正面スタンドへの設置は禁止。  
1～4ゲートの上部への設置も禁止。部旗・のぼり旗等の設置は禁止。ガムテープ等での固定も禁止。
- ⑤更衣は主競技場2階WC内の更衣スペース等を利用する。

## 21. プログラム訂正について

プログラムに訂正がある場合は、大会第1日目の競技開始1時間前までに、大会本部に申し出る。

## 22. 補助員協力について

参加校の補助員受付は、競技開始1時間前までに補助員係に申し出る。

## 23. その他

- ①競技会で発生した事故等については、主催者側で応急手当をするが、以後の責任は負わない。
- ②貴重品は各自で責任を持って保管し、盗難や紛失等に十分注意すること。
- ③競技者は当該競技場所を勝手に離れることはできない。(トイレ等で離れる場合には競技役員の指示に従うこと。)
- ④競技者は電子機器類(スマートフォン、映像装置、オーディオ機器、通信機器等)を競技場内に持ち込むことはできない。
- ⑤競技者は審判役員の指示に従い、事故等の無いように留意すること。また、「組」「試技順」を確認し、競技進行に協力すること。
- ⑥ゴミは原則として各自持ち帰ること。
- ⑦公園利用者の迷惑となる行為は厳に慎むこと。
- ⑧個人情報の取扱いについて大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的で利用することはない。